



勇気をもって起ちあがった仲間を支援 不当労働行為の根絶に向けて、連帯してたたかおう！

12月10日、地本は緊急全支部全分会代表者会議を開催しました。出席者から「JRバス関東・白河支店で発生した不当労働行為に対して、東京都労働委員会に救済申し立てをした組合員とバス棚倉分会、水戸地本と連帯してたたかおう！」との発言が相次いで出されました。

参加者から寄せられた特徴的な意見

- ◆棚倉のDVDを見た。あのようなことを自分の職場の組合員がされたら想像すると怒りがわいてくる。棚倉の組合員は不安のなかで闘っている。自分が何を出来るか？分会で何が出来るかを考えた。
- ◆都労委の命令はただの「紙切れ」ではない。不当労働行為に対して職場で闘うだけではだめだ。経営側としっかり対峙する必要がある。
- ◆バス関東会社は「管理者を処分した」というが「嚴重注意」と指定職への格上げと聞いた。これが処分といえるのか？
- ◆組合員が闘っているのに「支援しない」という言葉は言語道断だ！
- ◆初めて音声を聞いた。怒り心頭だ。東京都労働委員会を活用する闘いを支持し、連帯して闘うことを表明する！
- ◆個人名でたたかうという大変な思いをしている。「何のため・誰のためにたたかっているのか」を議論してきた。共にたたかう！
- ◆脱退すれば「不祥事をもみ消す」という発言は信じられない。職場が無法地帯化している。たたかいを潰したら組合は何も出来なくなる。
- ◆「専従とバスの議長を辞任しろ！」の指摘は間違っている！

**東京地本は水戸地本とバス棚倉分会の仲間を支援・連帯し
不当労働行為を根絶するたたかいを推し進めていきます！**